

安全・安心な道路利用のために
横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号（一部区間を除く）をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

～法面等の除草及び街路樹の剪定～
雑草等の繁茂により建築限界内に障害が発生することを防止するとともに、通行車両からの視認性を確保するため、建築限界内の通行の安全確保ができない場合や運転者から歩行者や交通安全施設等の視認性が確保できない場合に、除草や剪定を実施しています。

小田原は江戸時代、大久保氏十一万三千石の城下町を兼ねた宿場として、箱根の山越え、関所を控えた宿場として大いに栄えています。そのスケールは東海道屈指で、本陣・脇本陣とともに四軒、そして旅籠屋は九十五軒を数えました。国の史跡に指定されている小田原城はもちろん、当時の宿場の町並みを今に伝える板橋の旧道、小田原城攻めの時に豊臣秀吉が築いた石垣山一夜城など、貴重な史跡に今まで数多く出会えます。

小田原のイベント情報

- 板橋地蔵尊祭礼(旧東海道沿い/1月23・24日、8月23・24日)
「板橋のお地蔵さん」と親しまれている縁日で、多くの露店で賑わいます。
- 小田原まつり(城址公園、城山公園ほか/3月下旬～4月上旬)
樹齋340年以上の長興山のしだれ桜など、小田原は桜の名所としても有名です。
- 北條五代祭(城址公園と周辺/5月3日)
当時の姿を再現した武者隊、騎馬隊、鉄砲隊や音楽隊、まち衆隊など、盛勢2000人にも及ぶパレードが勇壮に練り歩きます。
- 一夜城まつり(石垣山一夜城歴史公園/10月中旬)
天正18年(1590年)豊臣秀吉が小田原攻めの際に開催したといわれる茶会にちなんだまつりです。
- 秋葉山火防祭(量覚院/12月6日)
修驗者装束の山伏が天下泰平の祈願や山伏問答をした後、オキ火の上を渡る「火渡り」の儀式が行われ、無病息災を願います。

※特に高速道路については、異状箇所所定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等を確認いただきお問い合わせください。※事故情報は、異状箇所所定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等を確認いただきお問い合わせください。※道路交差点については、(財)日本道路交通情報センター(TEL03-3264-1331)へお問い合わせください。※道幅交差点に迂回しておられます。※駐車場等の安全な場所に停めておいてください。

実施機関 国土交通省関東地方整備局・東日本高速道路株式会社・首都高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ

「道の相談室」ホームページアドレス

<http://www.ktr.or.jp/honkyoku/road/michi/>

発行:国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2 TEL045-311-2981

H24.3(H23.3増刷)

慶長六年（一六〇一年）、徳川家康が東海道に宿駿伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりもの歳月が流れました。

慶長九年（一六〇四年）には、江戸日本橋が五街道の起

点となり、その後、五街道を中心に一里塚や並木などの施設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として人・物・文化の交流に大きな役割を果しました。

さまざま歴史を運んだ東海道、この道を歩き、踏みしめ、道が果たしてきた役割、これらの姿を見つめましょう。

設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として人・物・文化の交流に大きな役割を果しました。その後、相模国府がこの地に移り、相模の六社の分霊が六所神社に祀られ、相模の総社となりました。

明治維新以降、二宮の発展と社会福祉の増進に尽くした伊達時を記念して建てられました。彼の功績は二宮駅の設置、大磯女子敬業学舎の開校、平塚盲学校初代校長など多岐にわたります。

二宮駅南口にガラスのうさぎを抱いて静かにいたすむ乙女の像です。この像は、第二次世界大戦中、二宮の空襲で父を失った体験を経た高木敏子さんの小説「ガラスのうさぎ」にならんで建てられました。町民の平和への願いも込められています。

「身代わり地蔵尊」を安置するため1689年（元禄2年）に建立され、昭和の初めに国道の拡幅工事により現在地へ移転しました。この身代わり地蔵尊は、信仰する者の危難を身代わりとなって救うと言われ、身体には刀傷のような痕が残っています。（大磯町指定重要文化財）※平時は公開していません。

明治維新以降、二宮の発展と社会福祉の増進に尽くした伊達時を記念して建てられました。彼の功績は二宮駅の設置、大磯女子敬業学舎の開校、平塚盲学校初代校長など多岐にわたります。

二宮駅南口にガラスのうさぎを抱いて静かにいたすむ乙女の像です。この像は、第二次世界大戦中、二宮の空襲で父を失った体験を経た高木敏子さんの小説「ガラスのうさぎ」にならんで建てられました。町民の平和への願いも込められています。



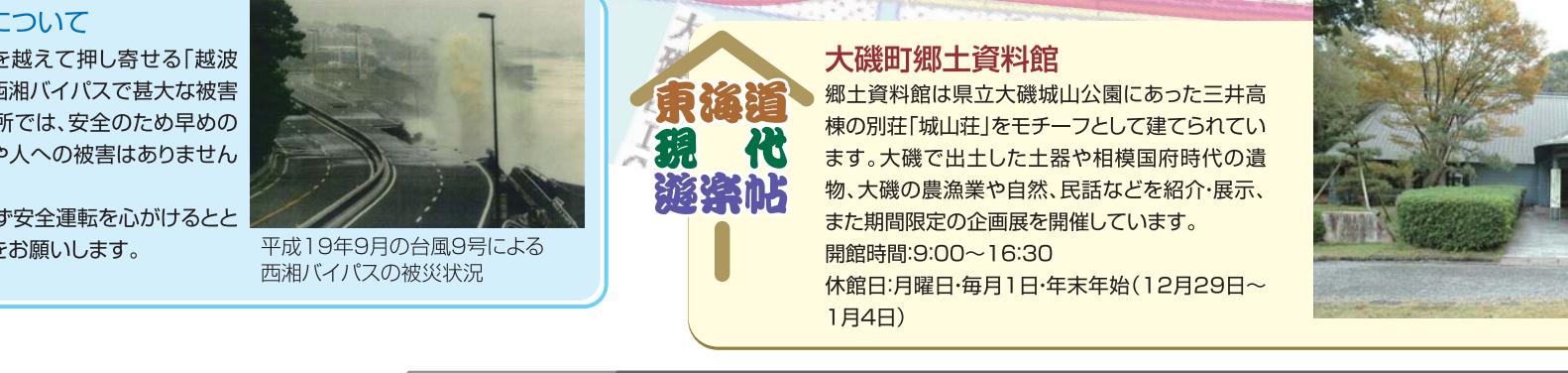
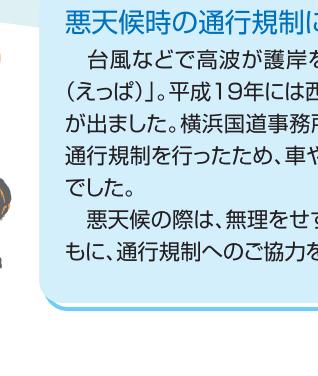
4 一里塚の跡
「江戸より十八里」の一里塚のある箇所に、昭和57年、一里塚の跡の碑が築かれました。



12 等覚院
別名、藤巻寺と呼ばれ、薬師堂の前には町の天然記念物に指定されている古いブジの木があります。もとは吾妻神社の別当坊千手院にあったと伝えられる梵鐘は町指定の重要文化財です。



1 あづまじんじゃ
吾妻神社
この神社は日本武尊の妻、弟橘媛命が夫の武運を祈り、海に身を投げ、その後、海辺に流れ着いた柳を吾妻山山頂に埋めた場所だと伝えられています。また、役場横の階段を登った山の頂上には公園があり、相模湾を見下ろして、眺めは格別です。



13 川勾神社
相模國の二の宮として、源賴朝はじめ多くの武将に崇敬されました。

11 吾妻神社
10 二宮駅
9 城山公園
8 西長院
7 六所神社
6 川勾神社
5 松屋本陣跡
4 一里塚の跡
3 川勾神社
2 等覚院
1 旧東海道
709 一般国道
71 主要地方道
63 県道
1 有料道路
P 駐車場
● その他のポイント
樂 東海道現代遊楽帖
1 1:10,000 500m
1000m

地図の凡例

旧東海道

宿内

一般国道

主要地方道

県道

有料道路

3 名所・史跡

トイレ

公園

P 駐車場

● その他のポイント

樂 東海道現代遊楽帖

設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として人・物・文化の交流に大きな役割を果しました。その後、相模国府がこの地に移り、相模の六社の分霊が六所神社に祀られ、相模の総社となりました。

明治維新以降、二宮の発展と社会福祉の増進に尽くした伊達時を記念して建てられました。彼の功績は二宮駅の設置、大磯女子敬業学舎の開校、平塚盲学校初代校長など多岐にわたります。

設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として人・物・文化の交流に大きな役割を果しました。その後、相模国府がこの地に移り、相模の六社の分霊が六所神社に祀られ、相模の総社となりました。